

令和7年度第1回 被害者保護増進等事業の効果検証に
関するワーキンググループ
議事概要

I. 日 時： 令和7年6月13日（金）10：00～12：00

II. 場 所： Web会議

III. 出席者（敬称略）：

委員（有識者）

古笛 恵子	弁護士	（欠席）
福田 弥夫	八戸学院地域連携研究センター長	（座長）
麦倉 泰子	関東学院大学 社会学部	教授

委員（関係団体）

小沢 樹里	一般社団法人関東交通犯罪遺族の会	代表理事
加藤 憲治	一般社団法人日本自動車会議所	保険特別委員長
金子 晃浩	全日本自動車産業労働組合総連合会	会長
桑山 雄次	全国遷延性意識障害者・家族の会	代表
古謝 由美	NPO 法人日本高次脳機能障害友の会	監事
坂口 正芳	一般社団法人日本自動車連盟	会長
徳政 宏一	NPO 法人日本頸髄損傷 LifeNet	理事長

国土交通省

大窪 雅彦	大臣官房審議官（物流・自動車）
忍海邊 智子	物流・自動車局 保障制度参事官

IV. 議事内容：

事務局からの資料説明後、主として以下のような意見のやり取りが行われた。

【事業全般について】

ナスバ事業の効果検証評価について、暫定評価として示されているが今後のワーキンググループや検討会でどのように評価を示すか、効果検証における評価の在り方を検討いただきたい。

長期的に予算執行率が極めて低い状況にある一部の被害者支援事業について、より実態に見合った予算措置を検討いただきたい。

厳しい経営状況にあるグループホームや訪問介護等の事業者への継続的な支援を検討いただきたい。

【被 5、6 短期入院・短期入所協力事業】

直近5年間の予算執行率が改善傾向にあるものの低迷している要因として、新型コロナウイルス等の影響も考えられるが、その原因についてはしっかりと検証すべきではないか。

重点支援病院や重点支援施設は、必要性は指摘されているのに利用率が低かった。リハビリの充実などで改善がはかられたが、その利用率の変化について共有いただきたい。

【被 7 自動車事故被害者受入環境整備事業】

実績が着実に上昇しているところ、アウトカム指標について実績を踏まえて引き上げる等、見直しを検討いただきたい。「介護者が介護できなくなったとき」は、非常に深刻かつ喫緊の課題である。

【被 8 社会復帰等促進事業】

補助対象事業者の数が着実に増加し支援の裾野が広がっており、非常に良い取組みができていると感じている。こうした好循環をさらに広げるために、更なる周知等をお願いしたい。

社会復帰促進事業でリハビリを終えた後、社会生活に参加できているかどうか等、リハビリ後の状況についても調査を実施していただきたい。

【被 9 被害者等支援の充実に係る調査研究】

令和6年度及び今年度実施した調査結果について共有いただきたい。

【被 13 療護センターの老朽化対策及び機能強化】

千葉療護センターの建て替えは、人件費や資材費の高騰により大変厳しい状況にあると考えられるが、確実に事業が進展するように引き続き検討いただきたい。

【被 14 在宅療養環境整備事業】

今年度から補助要件を緩和したことにより、補助対象事業者が増える見込みもあることから期待している。

【被 16 事故被害者へのアウトリーチ強化・ユーザー理解増進事業】

作成した PR 動画等は非常に質の高いものであるが、これらの媒体をどのように活かすか、広報活動において様々なプラットフォームの活用を検討いただきたい。

広報として、YouTube や AmazonPrime 等、様々なプラットフォームに広告を掲出することを検討すべきではないか。

免許センター等において、ナスバの PR 動画の放映やリーフレットの配布等の実施が効果的ではないか。

ナスバの広報に関して、自動車事故被害者や遺族等の当事者と連携することにより、ナスバの必要性がより伝わるのではないか。

ナスバの認知度向上について、ナスバが実施する自動車の比較調査等自動車アセスメントは自動車ユーザーの関心が高く、JAFMATE 等の広報媒体も活用いただきたい。

【事 10 運転に不安を抱える高齢者の免許返納の促進に向けた対策】

アウトカム指標が免許返納率の増加であるが、効果検証としては、この事業を契機に免許返納が進展したかどうか重要であり、そうしたアウトカム指標の設定について検討いただきたい。

高齢者の免許返納について、地方都市における公共交通機関の減便や廃止が問題視されている中、高齢者の免許返納ではなく、地方の公共交通機関を維

持するために補助金を出しているという認識にならないよう、地方における公共交通のあり方等も含めて慎重な議論をお願いしたい。

地方部においては、タクシー不足等により免許返納ができない方も多いと聞いており、AI タクシーや自動運転タクシー等も活用して免許返納を進めることも検討いただきたい。

【その他】

議題にはないが、前回説明のあったスクリーニング検査の補助事業や過積載・過労運転防止事業について、7月の検討会含めて丁寧に進めていただきたい。

— 以上 —